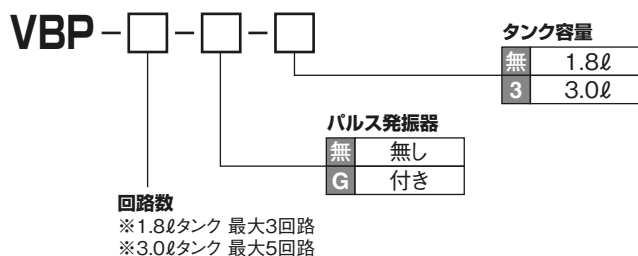


エア駆動式

VBP 型 (エア駆動式速乾性対応微量吐出ピストンポンプ)

型式表示方法



VBP-3 型

型式	コードNO.	回路数	ジェネレーター	タンク	
				1.8ℓ	3.0ℓ
VBP-1	112740	1		○	
VBP-2	112741	2		○	
VBP-3	112742	3		○	
VBP-1-G	112746	1	○	○	
VBP-2-G	112747	2	○	○	
VBP-3-G	112748	3	○	○	
VBP-1-3	112752	1			○
VBP-2-3	112753	2			○
VBP-3-3	112754	3			○
VBP-4-3	112755	4			○
VBP-5-3	112756	5			○
VBP-1-G-3	112762	1	○	○	
VBP-2-G-3	112763	2	○	○	
VBP-3-G-3	112764	3	○	○	
VBP-4-G-3	112765	4	○	○	
VBP-5-G-3	112766	5	○	○	

仕様

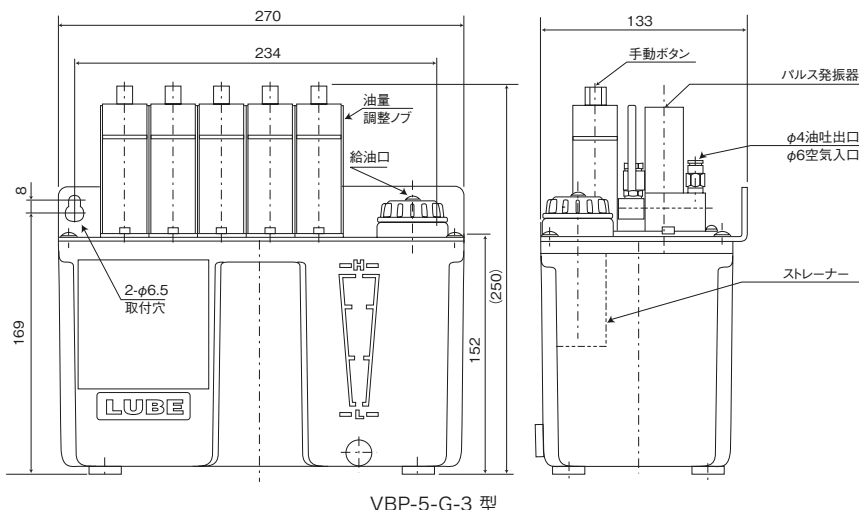
吐出量	0~0.07mℓ/ショット
吐出サイクル	2回/秒 (最大)
ポンプ比	1:5 (空気圧力0.3MPa時吐出圧1.5MPa、吐出量0.05mℓ/ショット時)
使用空気圧力範囲	0.3~0.7MPa 0.4~0.7MPa (パルス発振器仕様)
使用粘度範囲	2~180mm ² /s
標準ポンプ回路数	1.8ℓタンク: 3回路 3.0ℓタンク: 5回路
タンク容量	1.8ℓ、3ℓ樹脂タンク (標準)

ポンプ回路、タンク容量の組合せの特殊ユニットも承ります。

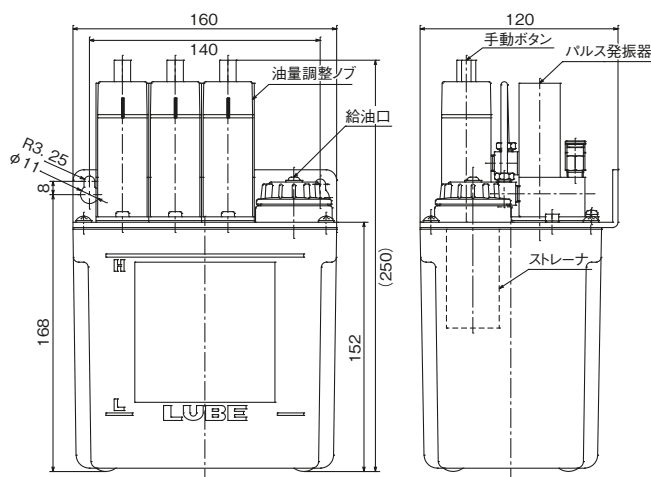
正しい使い方

- 特殊液剤を使用する場合には、弊社グローバルセンターまでご相談ください。
- 取扱説明書をご覧ください。

外形寸法図



外形寸法図



VBP-3-G 型

VBP 型ポンプ各調整部の調整方法

油量調整ノブ回転数-吐出量

ノブの回転数	0	1	2	4	6	8	10	12	14
1ショット当たりの吐出量	0	0.005	0.01	0.02	0.03	0.04	0.05	0.06	0.07

注意: 1回転以下での目盛り設定は吐出量が不安定になります。なるべく1回転以上の設定でご使用ください。

単位: cc/shot

パルス発振器調整方法

マイナスインプライバで表2を参考に調整をしてください。尚、「目盛と吐出回数」の値は参考値で、パルス発振器個々のバラツキは±30%程あります。表の値はあくまでも目安として、微調整を行ってください。

目盛-吐出回数 単位: 回/分

位置	目盛	加圧空気圧力 (MPa)		
		0.3	0.4	0.5
①	*	150	130	120
②	III	3	3	3

- △注意
1. パルス発振器の吐出回転数は上記のように、加圧空気圧力によって変化します。加圧空気圧力は必ず減圧弁で圧力設定してください。
 2. パルス発振器の目盛で、位置②～①間の■部では使用しないでください。

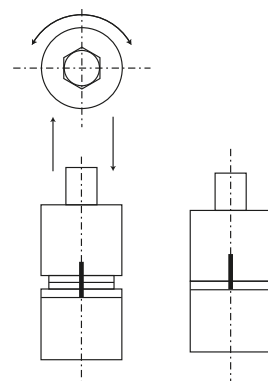
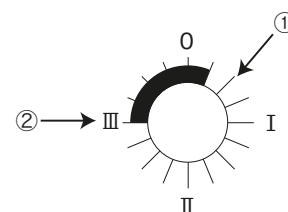


図1

図2



エア-抜き方法

ポンプの初期運転時には、エア-抜き作業が必要となります。エア-抜きは吐出量を最大(ノブ14回転)に設定してポンプを運転させるか、手動ボタンを操作することにより行います。